

公開実用新案公報

昭53—46215

⑤Int. Cl.²
B 42 F 13/16

識別記号

⑥日本分類
117 C 211庁内整理番号
6777—25

③公開 昭和53年(1978)4月19日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

④一枚ずつ着脱できるメモ用紙綴りリング

福岡市西区星の原団地56棟402号

①実 願 昭51—129166

⑦出 願 人 竹田正穂

②出 願 昭51(1976)9月25日

福岡市西区星の原団地56棟402号

⑧考 案 者 竹田正穂

号

⑥実用新案登録請求の範囲

図に示すように用紙の着脱装置として、切れ目3および誘導溝4を設けた多数のリング1、1'、1''、...を軸2でつないだ一枚ずつ着脱できるメモ用紙綴りリング。

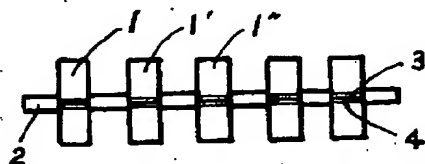
図面の簡単な説明

第1図は平面図、第2図は左右側面図、第3図

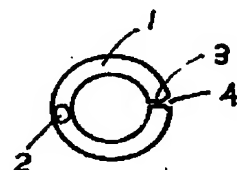
は正面図、第4図は斜視図、第5図は用紙の平面図。

1、1'、1''、...は切れ目を設けた多数のリング、2は軸、3は一直線に貫通した切れ目、4はリングの切れ目に設けた誘導溝、5、5'、5''、...は用紙の穴、6は用紙の縁、7は用紙の穴の外縁。

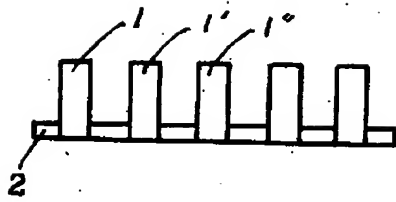
第1図



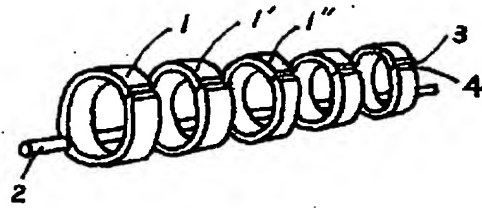
第2図



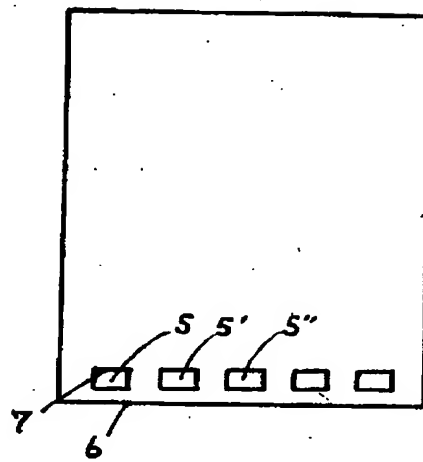
第3図



第4図



第5図





実用新案登録願
(3,000円)

昭和51年9月25日

適

特許庁長官 片山石郎 殿

1、考案の名称

1枚ずつ着脱できるメモ用紙綴りリング

2、考案者 実用新案登録出願人と同じ

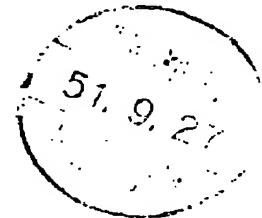
3、実用新案登録出願人 郵便番号 814

住所 フクオカケンフクオカシニシクホシ ハラダンチ トウ マク
福岡県福岡市西区星の原団地56棟402号

氏名 タケ ダ マサ ホ
竹 田 止 穂

4、添付書類の目録

- | | | |
|-----|------|----|
| (1) | 明細書 | 1通 |
| (2) | 図面 | 1通 |
| (3) | 願書副本 | 1通 |



53-46215

明 細 書

1、考案の名称

一枚ずつ着脱できるメモ用紙縦りリング

2、実用新案登録請求の範囲

図に示すように用紙の着脱装置として、切れ目 3 および誘導溝 4 を設けた多数のリング 1、1'、1''、... を軸 2 でつないだ一枚ずつ着脱できるメモ用紙縦りリング。

3、考案の詳細な説明

この考案は用紙が一枚ずつ着脱できるメモ用紙縦りリングに関するものである。

冊子になつたメモ用紙に望まれることは、取り扱いを便利にするため用紙が縦り部で 360 度回転すること、用紙の着脱が容易であることである。

従来の用紙の送り器具の中綴線針金縦りのように 360 度の回転ができるものは用紙の着脱ができずまた、バインダーのようにリングの開閉によつて用紙の着脱ができるものは開閉装置が大きいため用紙の 360 度の回転ができなかつた。

本案は用紙の 360 度の回転と着脱の 2 つの機能を

P. 2

合せもつたものである。

これを図面について説明すれば

- (1) 多数のリング 1. 1. 1''、を軸 2 でつなぐ。
- (2) 用紙の着脱装置として各リング 1. 1. 1''、を一直線に貫通する切れ目 3 を設ける。切れ目 3 のリングの外側の部分には誘導溝 4 を設ける。
- (3) 切れ目 3 の隙間は極めてせまいか又は軽く接触している。
- (4) リングはいくらか弾力のある材質で製作する。

いまこれを使用せんとするときは用紙の各穴 5 . 5. 5''、を各リング 1. 1. 1''、の位置に合わせ次に用紙の縁 6 をリングの誘導溝 4 に当て、用紙を挿し込めば、リングの弾力で切れ目 3 は少し開いて用紙を通すので用紙の穴 5. 5. 5''、はリング 1 . 1. 1''、に挿入される。

リングの外側にある誘導溝 4 は浅く設けてあるから用紙の回転には支障はない。

切れ目 3 のリングの内側の部分には誘導溝がない

から一度挿入された用紙は通常の操作ではリングからはずれない、また用紙は円滑に回転することができる。

尚、最初に用紙と同形の厚紙 2 枚をリングに挿入して軸 2 を両側からはさむようにすればリングは軸 2 を支点として動くのでリングに挿入した用紙の多少による支障は生じない。

用紙を抜き出すときはまず用紙の各穴の外縁 7 をリングの誘導溝 4 に合わせてから、用紙を更に押し込めば用紙の穴 5. 5'. 5''... はリング 1. 1'. 1''... からはずれてリングの内側にはいりこむ。

次に連らなっているリングのどちらか一方の端の方向へ用紙を引つぱると用紙はリングの切目 3 にはさまれながらすべつてリングから抜け出る。

もう一つの方法は前述のように用紙を更に押し込んで用紙の穴 5. 5'. 5''... がリング 1. 1'. 1''... の内側にはいつたあと用紙をずらして用紙の穴がリングとリングの間にくるようにしてから用紙を引き出すと用紙の穴と穴の間の紙の部分がリングの切目 3 にはさまれながらすべつて用紙はリングから

抜け出る。

本案は切れ目をせまくしてあるので、用紙の着脱は一枚ずつ行うが着脱が簡単にできるのが本案の特徴である。

従来メモ用紙は冊子から破りつつていたので、必要なメモの保管に際しては紙ばさみ、ゴム輪などを利用したりして、綴った形としての保管ができなかつた。

本案を多く準備することにより保存を要するメモは分類、仕訳後に綴った形として保管整理することができる。

本案はメモ用紙の綴り具として考案したが、本案の応用としてリングの数、大きさ、長さ、形状などを変えることにより、メモ用紙のみならずカード、学生の記憶カードその他各種の用紙の綴り具としても使用できる。

両端のリングのみ用紙着脱装置を設け中側のリングは硬質の材料で作れば中側のリングの切れ目は幅がやゝ広くなつても用紙の回転に支障はないからこれは規格の大きい用紙の綴り具に適する。

また、本案の用紙着脱装徴をもつ半円形の多くのリングを並べてつけた細長い板状の綴り具は表紙をつけるとバインダー形の綴り具となり、厚紙の一端につけると紙挟み形になるなどこれの応用範囲は広い。

本案は構造が簡単であるから工業上大量生産も可能である。

4、図面の簡単な説明

第1図は平面図、第2図は左右側面図、第3図は正面図、第4図は斜視図、第5図は用紙の平面図

1. 1. 1'、は切れ目を設けた多数のリング

2は軸

3は一直線に貫通した切れ目

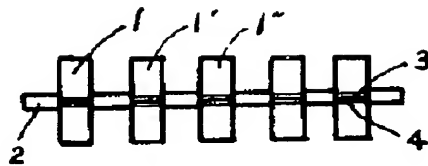
4はリングの切れ目に設けた誘導溝

5. 5. 5'、は用紙の穴

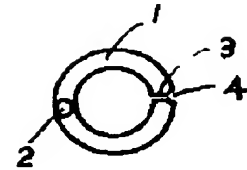
6は用紙の縁

7は用紙の穴の外縁

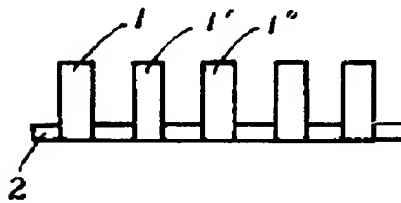
第1図



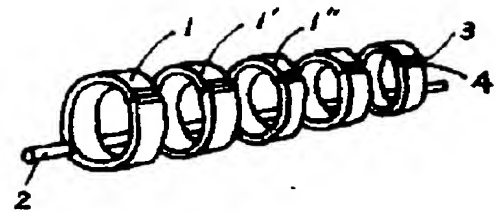
第2図



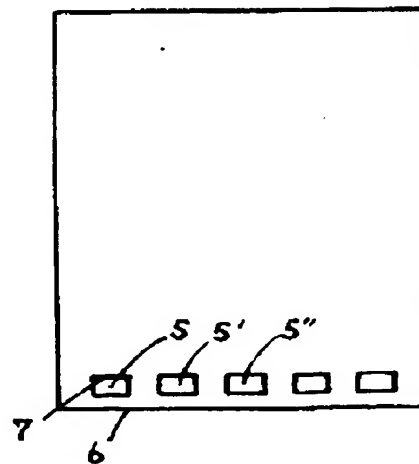
第3図



第4図



第5図



46215

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☒ **BLACK BORDERS**

☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**

☒ **FADED TEXT OR DRAWING**

☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**

☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**

☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**

☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**

☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**

☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**

☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.